

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（令和 5 年度）

重要業績評価指標（KPI）一覧表

基本目標 1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数	雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円（50人（1,000万円）まで限度である。 令和5年度も、約6,000㎡の残地が分譲とならなかったため、今後も誘致活動を行い早期の分譲終了を目指す。なお、令和3年度に分譲となった（株）フジ電科は、令和8年度11月の創業予定。	15名 (R2～R6累計)	14名	4 ほぼ達成 (80%～99%)
	固定資産税課税免除実施数	東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。	15社 (R2～R6累計)	13社	4 ほぼ達成 (80%～99%)
重要業績評価指標	新たな交流の場の創出	道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。	1件 (R6)	0件	3 未達成 (80%未満)
	新規就農者数	長ネギ生産者1件、きゅうり生産者2件を、国の交付金である新規就農者育成総合対策事業補助金を活用し、支援している。	8人 (R2～R6累計)	6人	3 未達成 (80%未満)
	自立支援事業による相談、就労支援件数	平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託（本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター）。訪問支援（アウトリーチ）も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。	相談60件 (R2～R6累計)	相談50件	4 ほぼ達成 (80%～99%)
			就労支援10件 (R2～R6累計)	就労支援23件	

基本目標 2 天栄村への新しいひとの流れの創出

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	純異動数（転入-転出）	－	-22 (R2～6平均)	-14	5 達成 (100%以上)
重要業績評価指標	移住・二地域居住問い合わせ件数	地方創生推進交付金を利用し、移住希望者と空き家のマッチングや移住に関する相談窓口の充実を図るため、H30より移住コーディネーターを配置しR2からは（一社）天栄ふるさと夢学校へ移住相談窓口等業務を委託している。移住コーディネーターによる移住相談は空き家のマッチングが主であるが、首都圏イベントにも参加し、移住定住の促進を図っている。	250件 (R6)	126件	3 未達成 (80%未満)
	移住定住希望者現地検討会参加者数	コロナ禍によりR2年度R3年度の実施は見送り、R4年度はこおりやま広域圏市町村の合同地域体験ツアーを実施。令和5年度は短期滞在住宅を利用し、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド移住体験事業を実施した。	40人 (R6)	17人	2 未達成 (50%未満)

基本目標 2 天栄村への新しいひとの流れの創出

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
重要業績評価指標	移住希望者短期滞在支援者数	村内に移住希望者が生活体験を行う短期滞在住宅を1棟整備し令和5年8月より利用を開始、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド型の移住体験事業を実施している。	25人 (R6)	17人	3 未達成 (80% 未満)
	空き家バンク相談件数	空き家の利活用及び中古住宅の流通促進を通して、空き家の発生や増加を抑制するとともに、地域の活性化及び地域の環境保全を図ることを目的に、村内の空き家の所在や詳細の把握、所有者へ空き家バンク登録への誘導や促進、利用希望者への現地案内等の調整を行った。	40件 (R6)	5件	2 未達成 (50% 未満)
	片付け・リフォーム補助利用件数	空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。	3件 (R6)	0件	2 未達成 (50% 未満)
	関係人口創出のための取り組み回数	天栄ファンクラブ制度の運営、村オリジナルグッズ作成・配布、カレンダー作成、PR大使を活用した事業等、さまざまなターゲットに対して関係人口創出の取り組みを実施した。	4回 (R6)	4回	5 達成 (100%以上)
	観光入込客数	天栄村観光協会と連携し、観光PRや教育旅行等の誘致活動、天栄村サポーター事業、宿泊補助事業等を実施し、誘客の促進に努めた。	470千人 (R6)	468千人	5 達成 (100%以上)
	滞在型誘客促進事業	令和2年度で事業終了。	100件 (R6)	-	1 未実施・把握できない

基本目標 3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実					
区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	合計特殊出生率 出生数	子育て支援に関する支援事業の見直し、補助事業の拡充と実施。	1.3 (R2～R6平均)	1.07	3 未達成（80％未満）
			195名 (R2～R6累計)	94名	
重要業績評価指標	てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数	独身者がいつでも気軽に相談できる体制確保のため縁結び応援サポーター制度を充実させ、地域の結婚希望の男女の出会いの創出やきっかけづくりに繋げる。	5組 (R2～6累計)	1組	2 未達成（50％未満）
	特定不妊治療費助成による妊娠成功件数	特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業廃止	8件 (R2～R6累計)	3件	1 未実施・把握できない
	周産期死亡数	妊娠届があった妊婦に対して、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票（15回分公費負担）を交付し、妊娠早期から継続的な支援を実施している。	0件 (R6)	0件	5 達成（100％以上）
	全国学力・学習状況調査（問題全国平均正答率の比較）	県教育委員会による「第7次福島県総合教育計画」による“学びの変革推進プラン”を展開していく中で、学びの変革によって資質・能力を確実に育成することを推進するとともに、全国学力・学習状況調査とふくしま学力調査の2つの調査を効果的に活用することで、児童生徒一人ひとりの学力の伸びや学習等に対する意識、生活状況等の把握や、教育施策の成果・課題を検証し、改善策を構築していき、学力を確実に伸ばす教育を推進した。	全国平均を上回る (R6)	小：全国平均下回る 中：全国平均下回る	2 未達成（50％未満）
	英検3級取得率（中学校卒業まで）	中学生が在学中を含んで中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを目指し、年3回の英語検定の受講料を補助する。	30% (R6)	23.4%	3 未達成（80％未満）
	村外の大学生と地元住民との交流事業の開催	湯本地区合同大運動会、eスポーツ体験会、湯本地区文化祭、地域課題についての意見交換会等で村外の学生たちに参加してもらい、地域の方との交流を図った。	400名 (R2～R6累計)	118名	2 未達成（50％未満）

基本目標 4 暮らしやすい生活環境の形成

区分	評価指標	取組状況	目標値	実績値	評価
基本目標指標	”住みやすい”と答えた人の割合	令和元年9月に村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に村民アンケートを実施し、第2期総合戦略においてアンケート結果をもとに様々な施策を展開している。	72.5% (R6)	-	1 未実施・把握できない
重要業績評価指標	郡山広域圏における連携の推進	人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、17市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。	継続 (R2～R6)	継続	5 達成（100％以上）
	バス・タクシー利用券の利用件数	天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載や各種事業、イベントに併せてチラシの配布を行い利用の促進を図った。	40件 (R6)	26件	4 ほぼ達成（80％～99％）
	福祉車両貸出件数	福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。	50件 (R6)	36件	4 ほぼ達成（80％～99％）
	高齢者生きがい活動支援事業参加者数	高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業、水中ウォーキング事業（令和5年度は代替としてノルディックウォーク事業を実施）、いきいきサロン事業、湯本サロン事業を実施している。	300人 (R6)	96人	2 未達成（50％未満）
	地域自主サロン数及び参加者数	地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。	8か所 (R6)	5か所	3 未達成（80％未満）
	生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数	生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所としての利用がある。 また、体育施設については天栄村総合農村運動広場、天栄村体育館、天栄村屋内運動場、天栄村屋内スポーツ運動場を村主催行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出ししており、令和5年12月より村内の高校生以下の利用は無料としている。	92,000人 (R6)	131,457人	3 未達成（80％未満）
			39,000人 (R6)	26,488人	
	ふるさとサポーター会員数	天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。会員に、イベント等の案内を随時お知らせするとともに、特典付き会員パスポートを送付し来村を促進する。さらに、4,000円相当の村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、新規顧客の開拓等の事業効果を図る。	550人 (R6)	559人	5 達成（100％以上）

重要業績評価指標 (KPI)	新たな交流の場の創出			目標値	1件	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		-				
	目標と実績	R2	1件	0件	0.0%	第2期造成工事完了		
		R3		0件	0.0%	第3期造成工事完了		
		R4		0件	0.0%	直売施設新築・駐車場整備工事完了		
		R5		0件	0.0%	広場施設整備工事完了		
		R6			0.0%			
		合計						
	主な事業の取組状況		道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。					
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	てんえいふるさと公園整備の完了後の運用について、検討を進める必要がある。					
	3 未達成 (80%未満)							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	R7年度の完了に向けて、引き続き整備を進めていく。						
今後の方針・改善策等 (A)	国の交付金等の特定財源を受け、R6年度に広場施設の整備工事等を進め、事業の完成を目指し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図る。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標	基本目標１ 安定した雇用の確保と地域産業力の強化									
施策	3. 就労支援									
重要業績評価指標 (KPI)	自立支援事業による相談、就労支援件数				目標値	相談 60件 就労支援 10件	(R2～R6累計)	担当課	健康福祉課	
事業経過 (相談)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)				
	基準値	R1		44件						
	目標と実績	R2	60件	11件	18.3%					
		R3		26件	61.7%	実人数26名				
		R4		9件	61.7%	実人数9名				
		R5		13件	83.3%	実人数13名				
		R6			83.3%					
		合計		60件	50件	83.3%				
	事業経過 (就労支援)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
基準値		R1		6件						
目標と実績		R2	10件	6件	60.0%					
		R3		4件	100.0%	3名就職				
		R4		5件	150.0%	3名就職				
		R5		8件	230.0%	5名就職				
		R6			230.0%					
		合計		10件	23件	230.0%				
主な事業の取組状況		平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託(本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター)。訪問支援(アウトリーチ)も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。								
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	相談から就労支援、就労に繋がっても、本人の状況により継続ができない場合も多いため、状況が深刻になる前の早い段階で相談・支援に入れるよう、住民への相談窓口の周知、発掘を行っていく必要がある。							
	4 ほぼ達成(80%～99%)									
指標および目標値の評価(C)	評価	理由								
	4 現状維持	R5年度は、前年を上回る結果となり、今後も継続的に実施していく。								
今後の方針・改善策等(A)	困窮世帯の発掘、早期介入が図れるよう相談窓口の周知及び各関係機関との連携を図る。									

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標	基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出							
基本目標指標	純異動数(転入-転出)			目標値	▲ 22	(R2～6平均)	担当課	住民課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		▲ 26		(H27～R1平均)		
	目標と実績	R2	▲ 22	▲ 38	57.9%	転入157、転出195 現住人口調査より		
		R3		▲ 34	61.1%	転入151、転出185 現住人口調査より		
		R4		0	91.7%	転入199、転出199 現住人口調査より		
		R5		16	157.1%	転入227、転出211 現住人口調査より		
		R6			196.4%			
		平均		▲ 22	▲ 11	196.4%		
主な事業の取組状況(D)	特段の取り組み無し							
目標(KPI)達成分析(C)	評価		問題・課題等(C)	外国人就労者の増と特別養護老人ホーム入居のための転入が多い。				
	5 達成(100%以上)							
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持		継続した実績値の集約や達成率の経過を計るため現状維持とする。					
今後の方針・改善策等(A)	特になし							

施策	1. UIJターンの促進・関係人口の創出							
重要業績評価指標 (KPI)	移住・二地域居住問い合わせ件数			目標値	250件	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		238件				
	目標と実績	R2	240件	227件	94.6%	移住相談委託先(夢学校)による集計		
		R3	240件	170件	70.8%	移住相談委託先(夢学校)による集計		
		R4	245件	142件	58.0%	移住相談委託先(夢学校)による集計		
		R5	250件	126件	50.4%	移住相談委託先(夢学校)による集計		
		R6	250件		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況	地方創生推進交付金を利用し、移住希望者と空き家のマッチングや移住に関する相談窓口の充実を図るため、H30より移住コーディネーターを配置しR2からは(一社)天栄ふるさと夢学校へ移住相談窓口等業務を委託している。移住コーディネーターによる移住相談は空き家のマッチングが主であるが、首都圏イベントにも参加し、移住定住の促進を図っている。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	空き家バンクの登録物件が少なくマッチングが難しい状況が続いているため相談件数は減少しているが、移住支援制度を利用した若い世代の移住は少しずつ増加している。					
	3 未達成(80%未満)							
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	まだ当面は地方移住への関心は高い傾向が続くことが予想されるため、村の受け入れの現状を勘案しつつ現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	空き家バンク担当課と協力し登録物件の充実を図るとともに、小規模住宅団地の整備など住まい確保に努め、各種補助制度と併せて移住定住の促進を図る。							

重要業績評価指標 (KPI)	移住定住希望者現地検討会参加者数			目標値	40人	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		30人		(R1)		
	目標と実績	R2	30人	0人	0.0%	感染症の影響により実施なし		
		R3	30人	0人	0.0%	感染症の影響により実施なし		
		R4	35人	10人	28.6%	こおりやま広域圏地域体験ツアー		
		R5	35人	17人	48.6%	オーダーメイド移住体験事業		
		R6	40人		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況	コロナ禍によりR2年度R3年度の実施は見送り、R4年度はこおりやま広域圏市町村の合同地域体験ツアーを実施。令和5年度は短期滞在住宅を利用し、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド移住体験事業を実施した。							
目標(KPI)達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	令和5年8月より短期滞在住宅を利用した地域体験事業を開始し、首都圏イベント等で周知を図っている。徐々に利用者数が伸びてきている状況にある。					
	2 未達成(50%未満)							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	オーダーメイド移住体験事業のほか従来の地域体験ツアーの実施も検討し、目標達成に向け取り組んでいく。						
今後の方針・改善策等 (A)	オーダーメイド移住体験事業のさらなる周知を図り、また地域体験ツアーの実施も検討し、実際に地域を見て触れられる機会の提供を図る。							

重要業績評価指標 (KPI)	移住希望者短期滞在支援者数				目標値	25人	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		21人					
	目標と実績	R2	20人	0人	0.0%	短期滞在住宅0棟			
		R3	22人	0人	0.0%	短期滞在住宅0棟			
		R4	23人	0人	0.0%	短期滞在住宅0棟			
		R5	24人	17人	70.8%	短期滞在住宅1棟			
		R6	25人		0.0%				
		合計							
主な事業の取組状況	村内に移住希望者が生活体験を行う短期滞在住宅を1棟整備し令和5年8月より利用を開始、短期滞在と地域体験を合わせて行うオーダーメイド型の移住体験事業を実施している。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	現在湯本地区に1棟整備しているが、場所柄利用する移住希望者に偏りが出ている。						
	3 未達成 (80%未満)								
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	4 現状維持	利用希望者数が伸びてきていることから現状維持とし、首都圏イベント等でさらなる周知を図る。							
今後の方針・改善策等 (A)	利用時の交通費等補助を行うなど、さらなる利用促進を図る。また、利便性の良い場所への整備を検討する。								

[illegible]

重要業績評価指標 (KPI)	片付け・リフォーム補助利用件数			目標値	3件	(R6)	担当課	建設課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		3件				
	目標と実績	R2	3件	4件	133.3%	改修補助3件、家財撤去1件		
		R3	3件	2件	66.7%	改修補助1件、家財撤去1件		
		R4	3件	0件	0.0%	改修補助0件、家財撤去0件		
		R5	3件	0件	0.0%	改修補助0件、家財撤去0件		
		R6	3件		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況	空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	一定の効果は見込めたが、賃貸のニーズが多くしかも比較的低廉な家賃設定であるために費用捻出のハードルが高く、空き家の特性上貸主の費用負担を求めることも難しいため利用が進まない。					
	2 未達成(50%未満)							
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持							
今後の方針・改善策等(A)	「住める空き家・住みたくなる空き家」としての整備を図るため、各種補助等を周知広報し、利活用が困難な空き家に関しては解体を促す等、新築のための土地利用の推進・検討も併せて行っていく。							

重要業績評価指標 (KPI)	関係人口創出のための取り組み回数				目標値	4回	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		2回					
	目標と実績	R2	2回	1回	50.0%	ファンクラブ			
		R3	2回	4回	200.0%	ファンクラブ、オンライン交流事業、てんぬぐい作成、フォトコンテスト			
		R4	2回	4回	200.0%	ファンクラブ、オンライン交流事業、てんぬぐい作成、カレンダー作成			
		R5	3回	4回	133.3%	ファンクラブ、カレンダー作成、PRグッズ制作、PR大使活用事業			
		R6	4回		0.0%				
		合計							
主な事業の取組状況	天栄ファンクラブ制度の運営、村オリジナルグッズ作成・配布、カレンダー作成、PR大使を活用した事業等、さまざまなターゲットに対して関係人口創出の取り組みを実施した。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	ファンクラブ制度の他、PR大使を活用しさまざまなターゲットにアプローチできた。						
	5 達成(100%以上)								
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	4 現状維持	今後も直接・間接問わず関わりをもってもらえる事業を検討していくため現状維持とする。							
今後の方針・改善策等 (A)	本関係人口創出事業によりつながった縁をより深化させるとともに、サポーター制度申込者やふるさと納税寄附者等、様々な入り口からの関係人口を取り込んでいくため、工夫しながら幅広く今後も広めていく。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標	基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出								
施策	2. 観光・交流の促進								
重要業績評価指標 (KPI)	観光入込客数				目標値	470千人	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	H30		438千人					
	目標と実績	R2	220千人	355千人	161.4%				
		R3	260千人	394千人	151.5%				
		R4	300千人	447千人	149.0%				
		R5	380千人	468千人	123.2%				
		R6	470千人		0.0%				
		合計							
主な事業の取組状況	天栄村観光協会と連携し、観光PRや教育旅行等の誘致活動、、天栄村サポーター事業、宿泊補助事業等を実施し、誘客の促進に努めた。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	目標値は達成したものの、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の風評被害が残り、宿泊者数や観光客が未だ戻ってきていないため、観光商工業に甚大な影響を与えている。						
	5 達成 (100%以上)								
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	5 数値の上方修正	誘致活動や各種イベントの開催、宿泊補助事業などにより積極的にPR活動を御行い、誘客の促進に努める。							
今後の方針・改善策等 (A)	今後も積極的に村のPR活動や誘致活動を行うほか、インフルエンサー起用によるPR動画撮影・SNS発信により国内外に情報を伝え、観光入込客数の増加に努める。								

重要業績評価指標 (KPI)	滞在型誘客促進事業				目標値	100件	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	H30		97件					
	目標と実績	R2	100件	16件	16.0%	延べ200人			
		R3							
		R4							
		R5							
		R6							
		合計							
主な事業の取組状況	令和2年度で事業終了。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	-						
	1 未実施・把握できない								
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	2 指標の変更を検討	-							
今後の方針・改善策等 (A)	-								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標		基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実							
施策		1. 結婚希望の実現							
基本目標指標		合計特殊出生率 出生数			目標値	1.30 195人	(R2～R6平均) (R2～R6累計)	担当課	健康福祉課
事業経過 (合計特殊出生率)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		1.19		(H27～R1平均)			
	目標と実績	R2	1.30	0.97	74.6%				
		R3		1.40	91.2%	出生数30人			
		R4		0.70	78.7%	出生数16人			
		R5		1.19	81.9%	出生数25人			
		R6			65.5%				
	合計	1.30	0.85	65.5%					
事業経過 (出生数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		189人		(H27～R1累計)			
	目標と実績	R2	195人	20人	10.3%				
		R3		33人	27.2%	合計特殊出生率1.4%			
		R4		16人	35.4%	合計特殊出生率0.7%			
		R5		25人	48.2%	合計特殊出生率1.2%			
		R6			48.2%				
	合計	195人	94人	48.2%					
主な事業の取組状況(D)		子育て支援に関する支援事業の見直し、補助事業の拡充と実施。							
目標(KPI)達成分析(C)		評価	問題・課題等(C)	子育て支援制度とともに、親が安心して生活できる基盤作りと仕事の安定。子育ての運動性が必要。					
		3 未達成(80%未満)							
指標および目標値の評価(C)		評価		理由					
		4 現状維持		子育て支援については、一過性のもではなく、中長期的な成果を目的としている。					
今後の方針・改善策等(A)		継続的かつ取り組みの実施が必要。							

重要業績評価指標 (KPI)	てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数			目標値	5組	(R2～6累計)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		0組				
	目標と実績	R2	5組	0組	0.0%	サポーター数:2名		
		R3		0組	0.0%	サポーター数:9名		
		R4		0組	0.0%	サポーター数:11名		
		R5		1組	20.0%	サポーター数:12名		
		R6			0.0%			
		合計	5組	1組	20.0%			
主な事業の取組状況	独身者がいつでも気軽に相談できる体制確保のため縁結び応援サポーター制度を充実させ、地域の結婚希望の男女の出会いの創出やきっかけづくりに繋げる。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価 2 未達成(50%未満)	問題・課題等(C)	婚活イベントからその後のサポートまでを一貫して実施したことにより結婚につながった。					
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	ニューノーマルでの婚活を標準化し、確実な成婚への支援を確保するため現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	結婚への機運の醸成等きっかけをつくり、サポーターによる切れ目のない支援を行えるよう、サポーター活動の充実のための養成講座等を実施する。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標		基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実						
施策		2. 出産・子育て支援						
重要業績評価指標 (KPI)		特定不妊治療費助成による妊娠成功件数		目標値	8件	(R2～R6累計)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		7件		(H27～R1累計)		
	目標と実績	R2	8件	2件	25.0%			
		R3		0件	25.0%	申請延件数 5件		
		R4		1件	37.5%	申請延件数 3件		
		R5		-	37.5%	助成事業廃止		
		R6		-	37.5%			
		合計		8件	3件	37.5%		
	主な事業の取組状況		特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業廃止					
目標 (KPI) 達成分析 (C)		評価		問題・課題等 (C)	-			
1 未実施・把握できない								
指標および目標値の評価 (C)		評価		理由				
		2 指標の変更を検討		特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業を廃止				
今後の方針・改善策等 (A)		医療保険が適用されず高額の治療費に係る不妊治療に対する経済的負担の軽減について検討						

重要業績評価指標 (KPI)	周産期死亡数			目標値	0件	(R6)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		-				
	目標と実績	R2	0件	0件	100.0%			
		R3	0件	1件	0.0%	早期新生児死亡		
		R4	0件	0件	100.0%	なし		
		R5	0件	0件	100.0%	なし		
		R6	0件					
		合計						
		主な事業の取組状況	妊娠届があった妊婦に対して、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票(15回分公費負担)を交付し、妊娠早期から継続的な支援を実施している。					
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	予期せぬ妊娠をした際の相談窓口の周知徹底					
	5 達成(100%以上)							
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	引き続き、妊娠・出産等に係る支援体制整備を図る。						
今後の方針・改善策等(A)	今後も継続して、切れ目ない支援を継続。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実								
施策	3. 特色ある学びの場の形成								
重要業績評価指標 (KPI)	全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較)				目標値	全国平均を上回る	(R6)	担当課	教育課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		全国平均と同程度		村内小・中学校全国学力検査結果			
	目標と実績	R2	全国平均を上回る	なし		R2は全国学力・学習状況調査なし			
		R3	全国平均を上回る	小:全国平均下回る 中:全国平均と同程度		小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均と同程度			
		R4	全国平均を上回る	小:全国平均下回る 中:全国平均下回る		小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均を下回る			
		R5	全国平均を上回る	小:全国平均下回る 中:全国平均下回る		小学校中学校ともに全国平均を下回る			
		R6	全国平均を上回る						
		合計							
主な事業の取組状況	県教育委員会による「第7次福島県総合教育計画」による“学びの変革推進プラン”を展開していく中で、学びの変革によって資質・能力を確実に育成することを推進するとともに、全国学力・学習状況調査とふくしま学力調査の2つの調査を効果的に活用することで、児童生徒一人ひとりの学力の伸びや学習等に対する意識、生活状況等の把握や、教育施策の成果・課題を検証し、改善策を構築していき、学力を確実に伸ばす教育を推進した。								
目標(KPI)達成分析(C)	評価 2 未達成(50%未満)		問題・課題等(C)	令和5年度は、小学校・中学校ともに全国平均を下回った。					
指標および目標値の評価(C)	評価 4 現状維持		理由 前年度までの達成率、および児童生徒の中長期的なWell-being実現を見据えると、目標値は適正であると考える。						
今後の方針・改善策等(A)	県が推進する学びの変革による「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」を求め、対話する力や表現する力、納得解を生み出す力、非認知能力の育成を重視しながら、村教育施策において都度、効果検証、課題把握、方策展開の流れを意識し、学校現場と密接に連携を図ることで確かな学力を定着させる。								

重要業績評価指標 (KPI)	英検3級取得率(中学校卒業まで)			目標値	30.0%	(R6)	担当課	教育課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		12.0%		3級以上取得生徒/村立中学生		
	目標と実績	R2	30.0%	19.1%	63.7%	26名/136名		
		R3	30.0%	18.5%	61.7%	24名/130名		
		R4	30.0%	24.4%	81.3%	29名/119名		
		R5	30.0%	23.4%	78.0%	26名/111名		
		R6	30.0%		0			
		合計						
主な事業の取組状況	中学生が在学中を含んで中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを目指し、年3回の英語検定の受講料を補助する。							
目標(KPI)達成分析(C)	3 未達成(80%未満)		問題・課題等(C)	英語検定3級は、中学校卒業レベル相当であることから、卒業までに全員が取得することを目指しているが、受講料補助による合格率向上への寄与には限界がある。				
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持		R5年度の全国の中学生の英語教育実施状況調査によると、英検3級相当以上の割合が伸びている傾向にある。村内でも経年では着実な向上がみられているため、目標値は適正であるとする。					
今後の方針・改善策等(A)	村内中学生のR5年度の受験率は121.6%であり、ほぼ全員が受験している。英語学習意欲の向上に繋がっているため事業方針・内容については現状維持とし、他の英語教育施策との効果的な実施とあわせ、引き続き支援していく必要がある。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標		基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実							
施策		4. 若者求心力の創出							
重要業績評価指標 (KPI)		村外の大学生と地元住民との交流事業の開催			目標値	400人	(R2～R6累計)	担当課	湯本支所
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		－					
	目標と実績	R2	400名	76名	19.0%	オンラインでの事業展開を実施			
		R3		10名	21.5%	文化祭展示への協力			
		R4		18名	26.0%	eスポーツ交流			
		R5		14名	29.5%	運動会、eスポーツ、文化祭等での交流			
		R6			29.5%				
		合計		400名	118名	29.5%			
主な事業の取組状況		湯本地区合同大運動会、eスポーツ体験会、湯本地区文化祭、地域課題についての意見交換会等で村外の学生たちに参加してもらい、地域の方との交流を図った。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価		問題・課題等 (C)	4回実施した。今後、交流形態について検討したい。					
	2 未達成 (50%未満)								
指標および目標値の評価 (C)	評価		理由						
	4 現状維持		都市部と農村部との交流や若者の定着、流出抑制を図るためにも実現に向かって努力したい。						
今後の方針・改善策等 (A)		都市部との交流及び地域の方々の生きがいづくり、若者の村外流出防止、故郷への愛着等図るためにも引き続き事業展開を図っていきたい。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標		基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成						
基本目標指標		”住みやすい”と答えた人の割合		目標値	72.5%	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		52.3%				
	目標と実績	R2		－				
		R3		－				
		R4		－				
		R5		－				
		R6	72.5%		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況(D)		令和元年9月に村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に村民アンケートを実施し、第2期総合戦略においてアンケート結果をもとに様々な施策を展開している。						
目標(KPI)達成分析(C)		評価		問題・課題等(C)	アンケート実施年度ではないため、KPI分析不可。			
1 未実施・把握できない								
指標および目標値の評価(C)		評価		理由				
		4 現状維持		感染症の影響により“住みやすい”の価値や指標に変化があることも予想されるが、まだ計画年度途中(4年目)であるため現状維持とする。				
今後の方針・改善策等(A)		第2期総合戦略において、“住みやすい”と思われるよう各種施策を講じた。計画期間の最終年度(R6)に当期の評価や次期計画の参考のために再度アンケートを実施予定。						

施策	1. 地域連携による経済・生活圏の形成							
重要業績評価指標 (KPI)	郡山広域圏における連携の推進			目標値	継続	(R2～R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		継続		都市圏ビジョン改訂		
	目標と実績	R2	継続	継続	100.0%	連携協約の一部変更・PR映像制作		
		R3		継続	100.0%	都市圏ビジョン改訂・公民協奏パートナーシップ包括連携協定締結		
		R4		継続	100.0%	新規事業創出ワーキンググループ		
		R5		継続	100.0%	都市圏ビジョン2.0策定		
		R6						
		合計						
主な事業の取組状況	人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、17市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価		問題・課題等 (C)	SDGsやDXの推進等、新たな分野への情報共有や連携を通し、圏域全体で住民の生活水準向上や課題解決に寄与することができている。				
	5 達成 (100%以上)							
指標および目標値の評価 (C)	評価		理由					
	4 現状維持		市町村規模等の違いから、構成市町村と完全に足並みを揃えて事業展開することは難しいが、意識の醸成や情報共有でも効果は見られ、今後も現状維持していくことが妥当と思われる。					
今後の方針・改善策等 (A)	郡山市を中心として各種連携事業に取り組み、誰一人取り残されないSDGsの理念のもと、子どもやZ世代を含む若者から高齢者まで全世代・全員が活躍できる圏域を目指す。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

基本目標		基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成						
施策		2. 誰もが暮らしやすい生活環境づくり						
重要業績評価指標 (KPI)	バス・タクシー利用券の利用件数			目標値	40件	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		22件		バス17件、タクシー5件		
	目標と実績	R2	30件	21件	70.0%	バス15件、タクシー6件		
		R3	30件	20件	66.7%	バス12件、タクシー8件		
		R4	30件	32件	106.7%	バス13件、タクシー19件		
		R5	30件	26件	86.7%	バス11件、タクシー15件		
		R6	40件		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況		天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載や各種事業、イベントに併せてチラシの配布を行い利用の促進を図った。						
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価		問題・課題等 (C)	目標値を達成することができなかった。助成額を増やしてほしいという要望が多くあり、令和6年度に助成額を大幅に上げた。				
	4 ほぼ達成 (80%～99%)							
指標および目標値の評価 (C)	評価		理由					
	4 現状維持		今後も交通弱者の需要は見込まれるため現状維持とする。					
今後の方針・改善策等 (A)		住民ニーズや本村の交通や移動の環境を全体的に把握し、状況に応じ要綱見直しを図る等、高齢者や障害者等への公共交通確保の観点から継続して的確な支援を行っていく。						

重要業績評価指標 (KPI)	福祉車両貸出件数				目標値	50件	(R6)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		25件					
	目標と実績	R2	30件	22件	73.3%	実利用人数5人			
		R3	35件	11件	31.4%	実利用人数4人			
		R4	40件	38件	95.0%	実利用人数9人			
		R5	45件	36件	80.0%	実利用人数8人			
		R6	50件		0.0%				
		合計							
主な事業の取組状況	福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価		問題・課題等 (C)	事業の周知					
	4 ほぼ達成 (80%～99%)								
指標および目標値の評価 (C)	評価		理由						
	4 現状維持		新規利用者は伸び悩んでいるが、必要な在宅高齢者、障がい者は一定数おり、継続的な利用者がいること、周知等により今後の需要が見込まれることから現状維持とする。						
今後の方針・改善策等 (A)	広報活動や地域包括支援センター・ケアマネージャーへの周知活動を重点的に実施し、さらなる事業の浸透を目指す必要がある。								

重要業績評価指標 (KPI)	高齢者生きがい活動支援事業参加者数	目標値	300人	(R6)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)
	基準値	R1		250人		
	目標と実績	R2	200人	180人	90.0%	
		R3	200人	153人	76.5%	水中14名、サロン77名、湯ったり62名
		R4	250人	107人	42.8%	水中8名、サロン54名、湯ったり45名
		R5	250人	96人	38.4%	ノルディック(水中)11名、サロン48名、湯ったり37名
		R6	300人		0.0%	
		合計				
主な事業の取組状況	高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業、水中ウォーキング事業(令和5年度は代替としてノルディックウォーク事業を実施)、いきいきサロン事業、湯本サロン事業を実施している。					
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	継続的に参加している方が身体的事由により参加継続が困難になってしまうこと、新規参加者の確保。			
	2 未達成(50%未満)					
指標および目標値の評価(C)	評価	理由				
	4 現状維持	高齢者の増加に伴い今後さらに需要、必要性が見込まれるため現状維持とする。				
今後の方針・改善策等(A)	各種事業の実施形態を工夫し、事業展開の周知を図り、既存参加者の意欲向上・新規参加者数の増加を目指す。					

重要業績評価 指標 (KPI)	地域自主サロン数及び参加者数				目標値	8か所	(R6)	担当課	健康福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		4か所		参加者数50人			
	目標と実績	R2	5か所	4か所	80.0%				
		R3	6か所	5か所	83.3%	参加者数59人			
		R4	7か所	6か所	85.7%	参加者数66人			
		R5	8か所	5か所	62.5%	参加者数64人			
		R6	8か所		0.0%				
		合計							
主な事業の 取組状況	地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価		問題・課題等 (C)	各地区の運営に関する人材不足					
	3 未達成 (80%未満)								
指標および 目標値の評価 (C)	評価		理由						
	4 現状維持								
			歩いて行ける身近な地域内での介護予防・ご近所との仲間づくりの場を持つことが今後も重要であるため。						
今後の方針・改善 策等 (A)	各サロンの活動を事例に、各地域におけるリーダーを育成し、新規自主サロンの立ち上げを目指す。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標		基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成						
施策		3. 既存施設の利活用						
重要業績評価指標 (KPI)	生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数			目標値	92,000人	(R6)	担当課	生涯学習課
					39,000人	(R6)		
事業経過 (生涯学習センター利用者数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		76,776人				
	目標と実績	R2	80,000人	111,237人	139.0%	確定申告会場として利用		
		R3	83,000人	127,983人	154.2%	確定申告会場として利用		
		R4	86,000人	130,642人	151.9%	確定申告会場、期日前投票所として利用		
		R5	89,000人	131,457人	147.7%	確定申告会場として利用		
		R6	92,000人		0.0%			
		合計						
	事業経過 (体育施設利用者数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
基準値		R1		34,656人				
目標と実績		R2	35,000人	16,937人	48.4%	新型コロナウイルス感染症防止策により利用停止の期間があった。		
		R3	36,000人	24,055人	66.8%	新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用する期間があった。		
		R4	37,000人	18,804人	50.8%	利用団体の活動休止や工事等による利用停止期間があった。		
		R5	38,000人	26,488人	69.7%	新型コロナウイルスの5類移行により利用者が増加した。		
		R6	39,000人		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況		生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所としての利用がある。 また、体育施設については天栄村総合農村運動広場、天栄村体育館、天栄村屋内運動場、天栄村屋内スポーツ運動場を村主催行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出ししており、令和5年12月より村内の高校生以下の利用は無料としている。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	施設が老朽化してきているため、今後の管理運営を計画的に行い、施設備品等の更新を逐次行っていく必要がある。					
	3 未達成(80%未満)							
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	体育施設については、村内外の利用者を積極的に受け入れていく。						
今後の方針・改善策等(A)	利用者が利用しやすい施設となるよう、適切な施設の管理運営に努めるため、必要に応じ修繕や備品等の更新等を行っていく。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和5年度)

基本目標	基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成							
施策	4. 消費喚起の拡充							
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさとサポーター会員数			目標値	550名	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		514名				
	目標と実績	R2	550名	553名	100.5%			
		R3	550名	508名	92.4%			
		R4	550名	515名	93.6%			
		R5	550名	559名	101.6%			
		R6	550名		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況	天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。会員に、イベント等の案内を随時お知らせするとともに、特典付き会員パスポートを送付し来村を促進する。さらに、4,000円相当の村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、新規顧客の開拓等の事業効果を図る。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	サポーター会員の来村が少ないため、観光客誘客促進のためにも、サポーター会員の来村を促すような新たな取り組みや改善を実施することが課題である。					
	5 達成 (100%以上)							
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	4 現状維持	サポーター会員のPRを積極的に行い、会員の増加及誘客促進に努める。						
今後の方針・改善策等 (A)	村特産品の内容を見直すとともに、各種イベントにおいて積極的にPRし、新規会員の増加を図る。							